

基本目標6 仕事と生活の調和のための環境整備

施策の方向1 仕事と子育ての両立支援

番号	事業名	事業内容	平成28年度実績	評価	課題・今後の方向性	担当課	関連課
1	母親学級・両親学級(再掲)	妊娠、出産、育児に主体的に臨むことができるよう正しい知識の習得機会を提供し、妊娠中の不安の解消を図るとともに、孤立しがちな母親同士が地域で情報交換や相談し合える仲間づくりの場としても活用できるよう支援していきます。 また、男性に育児についての学習や体験の機会を提供することにより、夫婦が協力して育児ができるよう男性の参加を促進します。	* プレママサロン(母親学級)受講者数 延べ152人 * ハロー赤ちゃんクラス(両親学級)受講者数 延べ145人	◎	妊婦体操や沐浴・調乳などの実習を通して、出産や育児に関する知識の普及を図った。 また、先輩ママを招いた懇談会を行うことで、参加者同士の情報交換の機会を提供した。 妊娠期における支援の充実を図るため、子育て相談課と連携を図りながら事業を運営していく。(平成29年度からは関係課として子育て相談課を追加)	健康課	
2	父親向け育児講座	父親への意識の向上と啓発を図るため、子どもへのかかわり方やともに子育てをしていくパートナーとしての役割などについての講座を開催します。	*みんなで楽しむ子育て講座の開催:参加者33人	◎	参加した父親の育児参加への動機づけと子どもへの関わり方について具体的に学んでもらうことができた。 引き続き男性保育士の会への講師依頼を継続していく。	子育て相談課	
3	広報啓発活動による仕事と生活の調和に関する意識啓発	仕事と生活の調和についての理解が進むよう、広報・啓発を充実します。	①羽村市産業祭において、啓発用ポケットティッシュを配布し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行った。 実施日 平成28年11月5日(土)・6日(日) ポケットティッシュ配布数 500個 ②市内企業メールを活用し、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供を行った。 実績:13件	○	引き続き、市民や事業者に対し、意識啓発を行っていくとともに、平成29年度は、第4次羽村市男女共同参画基本計画の計画年度がスタートするため、新たな啓発事業も実施していく。	企画政策課	産業振興課
4	女性のための再就職、キャリアアップ応援講座	出産・育児等のために退職した女性が再就職できるよう、就職に有利となるような学習機会を提供します。	再就職応援講座等による学習機会の提供に努めた。 ①再就職支援セミナー (企画政策課・産業振興課) 意識啓発を目的としたセミナーを実施した。 実施日 平成29年3月10日 参加者 5人 ②ミニブルーム交流カフェ (産業振興課) 創業を目指す方を対象としたセミナーを実施した。 実施日 平成29年1月18日 参加者 6人 ③女性向けセミナー (産業振興課) 女性のための再就職支援セミナー・個別相談会を実施した。 実施日 平成28年12月9日 参加者 13人 ②および③については、企画政策課は一時保育を担当。	○	多様な働き方に対応するため、内容の充実を図り、引き続き学習機会の提供に努めていく。	企画政策課	産業振興課
5	男女雇用機会均等法や育児・介護休業法などの周知	育児・介護休業法などについて、広報紙やパンフレット等を活用した普及啓発を行い、男性も女性も育児休業制度等が取得しやすい職場環境づくりに努めます。 また、子育てしやすい就労環境づくりに向け、商工会や事業主に対して理解と協力を求めます。	東京都等の関係機関からのリーフレット等による情報提供、広報紙掲載を行った。	○	改正内容などをタイムリーに周知できるように心掛けていくとともに、最新の情報を提供できるよう、情報収集に努めていく。	企画政策課	産業振興課
6	多様な保育事業の提供	保護者が安心して子育てと仕事の両立が図られるよう、認可保育園の建替えにより待機児童の比較的多い低年齢児の定員枠の拡大を図ります。 学童クラブについては、小学校高学年の子どもの利用について、計画期間内に確保していきます。 また、一時預かり事業や休日保育事業、乳幼児ショートステイ事業など、多様な保育事業について周知を図り、子育て家庭のニーズを踏まえた施策を提供していきます。	認可保育園の建て替えにより平成28年度、0～2歳児で13名の定員拡大を行った。	◎	今後も認可保育園の建替えにあわせ、低年齢児の定員枠の拡大を図っていく。 学童クラブの小学校高学年の子どもの利用については、検討していく。 保育事業については、今後も市民ニーズを把握しながら実施し、対象施設、利用方法などを引き続き広報、市公式サイト、子育て応援ガイドブック等でわかりやすく周知していく。	子育て支援課	子育て相談課・児童青少年課